

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果から見た大関小学校児童の姿

坂井市立大関小学校

## Ⅰ 教科に関する調査結果

### 【国語・算数 平均正答率比較】

	国語	算数
福井県との比較	△	○
全国との比較(%)	△	○

全国や県平均と比較して、

- ・ 5ポイント以上上回っている…5≦◎
- ・ 上回っている …0<○<5
- ・ 下回っている …△<0

### 【国語・算数 領域・問題形式別 正答率比較】

教科	国 語									
	学習指導要領の領域					評価の観点		問題形式		
区分	言語	情報の扱い方	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式
県との比較	△	△	△	△	◎	△	△	△	△	○
全国との比較	△	△	○	△	◎	△	○	△	△	◎

教科	算 数									
	学習指導要領の領域					評価の観点		問題形式		
区分	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式
県との比較	△	○	△	○	○	○	△	△	○	△
全国との比較	○	○	△	○	◎	○	○	△	◎	○

## 国語

### 良かった点

- ① 「思考力、判断力、表現力等」の「読むこと」がよくできていました。
- ② 問題形式では、記述式が県平均、全国平均を上回っていました。

### 課題

- ① 決まった文字数で、文章をまとめることが苦手です。
- ② グラフから読み取ったことを伝えるように書くことが苦手です。
- ③ 同音異義語が苦手です。
- ④ 情報と情報の関係や、情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことが苦手です。

### 対策

- ① 国語以外の教科でも資料から分かったこと、考えたことを書かせたり、伝え合ったりするようにします。
- ② 条件を与えて文章を書かせます。(例：登場人物の人柄について、好きな場面について、○字以内で)
- ③ 漢字のもつ意味を大事に指導します。熟語なども訓読みで読ませるなどして、毎日少しずつ練習し、定着をはかります。
- ④ 問題文の複数の大事な言葉をおさえることができるようにします。授業中で、大事な言葉に着目させたり、それらの言葉がどうつながっているか、線や表でまとめさせたりするようにします。

## 算数

### 良かった点

- ① かけ算や計算のきまりなど、基本的な計算がしっかりとできていました。
- ② 複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて文を書くことができていました。

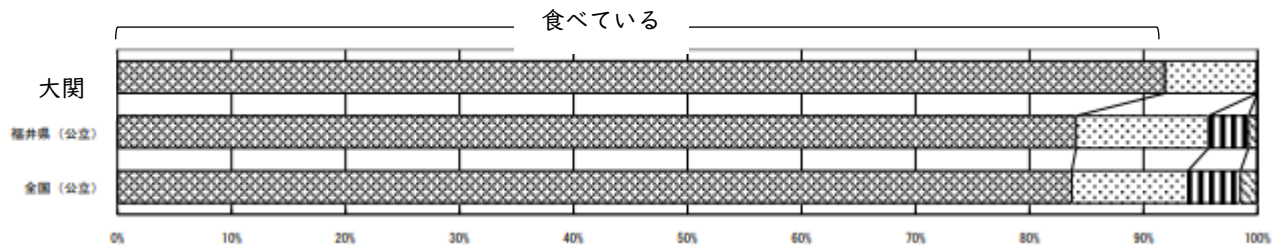
- 課題**
- ① どの領域でも、思考を要する問題の正答率が低かったです。
  - ② 図形の名前は知っていますが、定義を理解していない場合が見受けられました。
  - ③ 答えを選んだあと、その理由を言葉や数を用いて記述することが苦手です。

- 対策**
- ① 算数用語を正しく理解し、言葉で説明できるように指導します。
  - ② 算数での「言語力」を身につけさせるために、算数的事実に対して、方法や理由が言えるようにします。
  - ③ 題意がつかみづらい問題を、最初から教師がかみ砕いて伝えるのではなく、児童に考えさせたり、要約させたりする時間をとります。

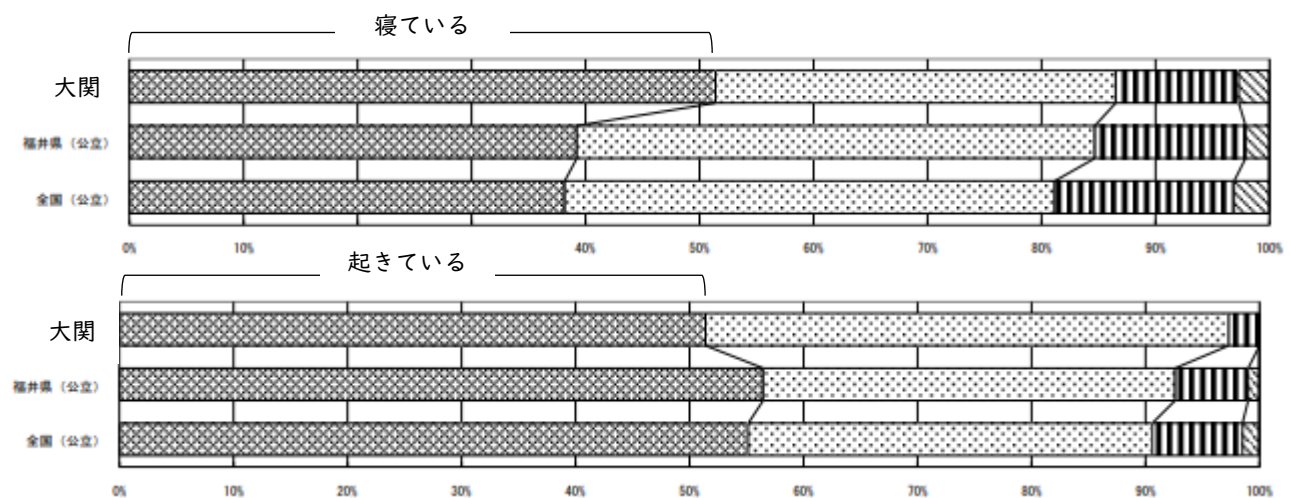
## 2 生活習慣や学習状況等に関する調査結果

### ○生活習慣について

#### ・朝食を毎日食べている



#### ・毎日同じくらいの時刻に寝ている



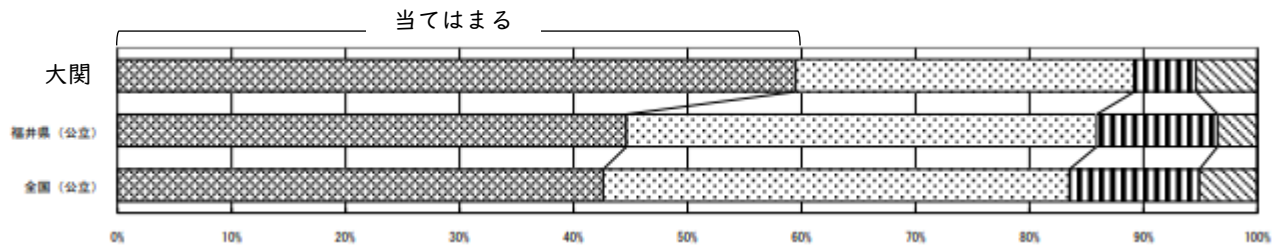
◎基本的な生活習慣は、しっかり身につけています。特に朝食や就寝時刻に関しては、全国・県平均を上回っています。

▲反面、起床時刻が一定している児童の割合は、全国・県平均を下回っています。

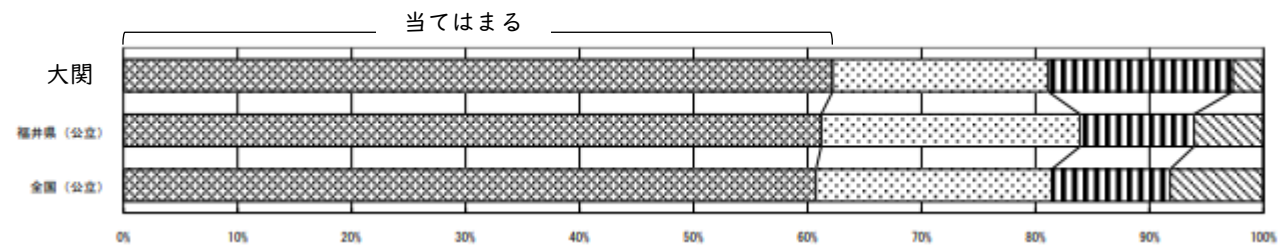
□昨年と比較して、少しずつ生活習慣の修正ができてきていると感じます。生活習慣は、すべての学習や教育活動の基本となるものです。「にこいきチェック」や「ノーテレビ・ノーゲームデー」などを効果的に導入しながら、より一層の自己管理能力の育成に努めていきます。

○自分自身に関することについて

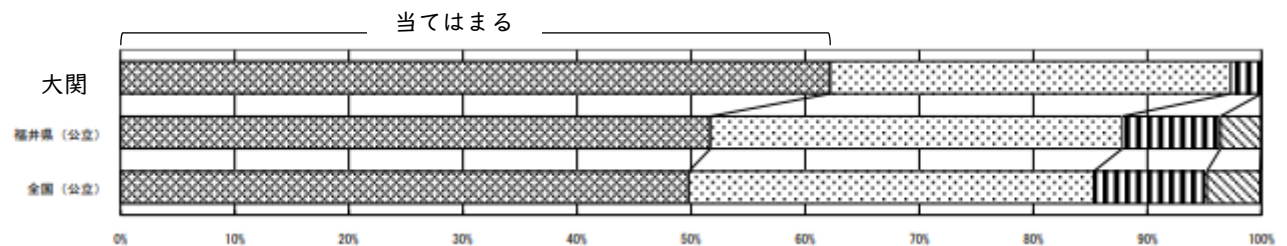
・自分にはよいところがあると思う



・将来の夢や自己目標を持っていますか



・学校に行くのは楽しい

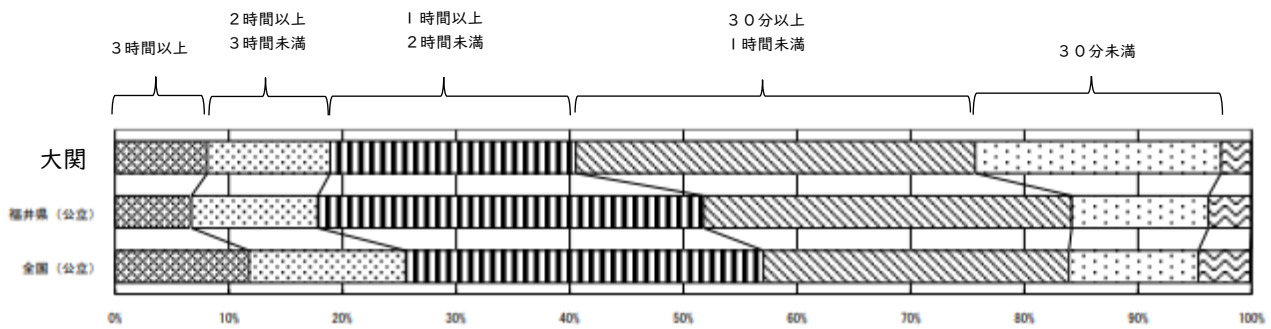


◎自己肯定感が高く、学校に行くことが楽しい児童が多いことがわかります。また、将来の夢や目標を持っている児童も全国や県の平均を上回っており、学校生活の中で1人ひとりが目標を持って生活していることができています。

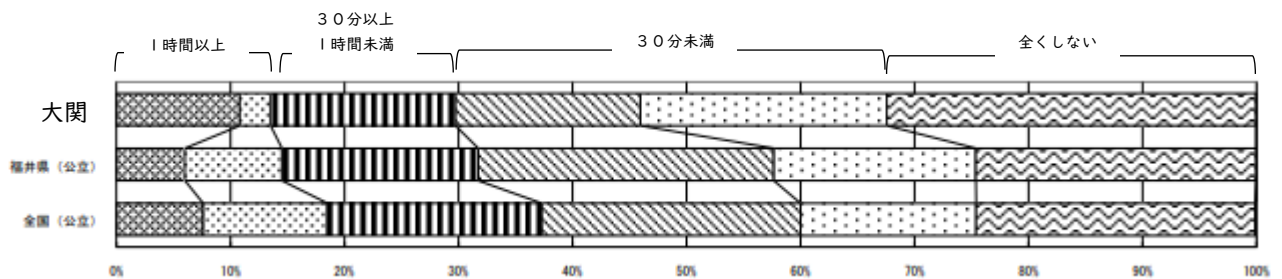
□これまでのポジティブ教育の成果が表れていると分析しています。自己肯定感を高めるために、短所を注意し指導するのではなく、長所をどんどん伸ばすような声かけを進めていきます。また、自分ひとりではできないことでも、仲間と協力して行う協働学習を積極的に行うことで、さらに自身と有用感につなげていきたいと考えています。

○家庭での様子について

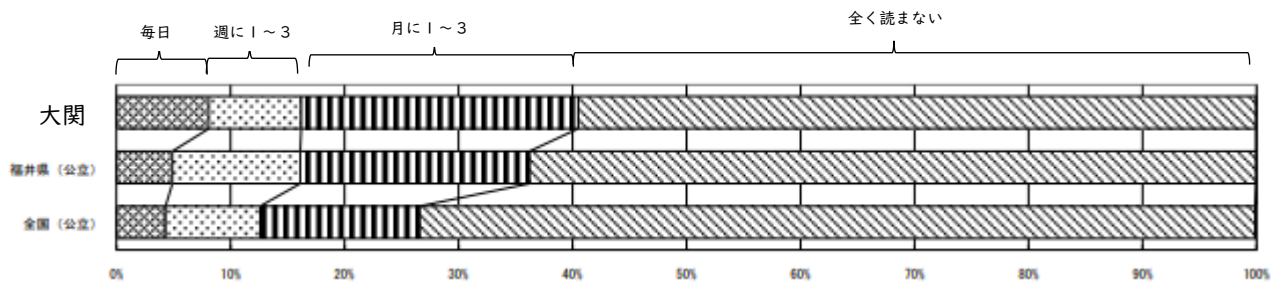
・学校の授業以外で1日どれくらい学習しますか



・家でどれくらい読書をしていますか



・家で新聞を読んでいますか



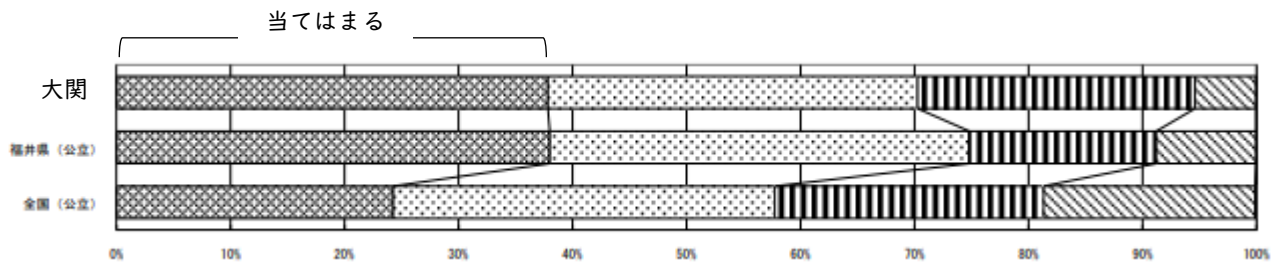
◎新聞を読む児童は県や全国平均を上回っていました。

▲平日の学習時間や読書などの割合が低かったです。

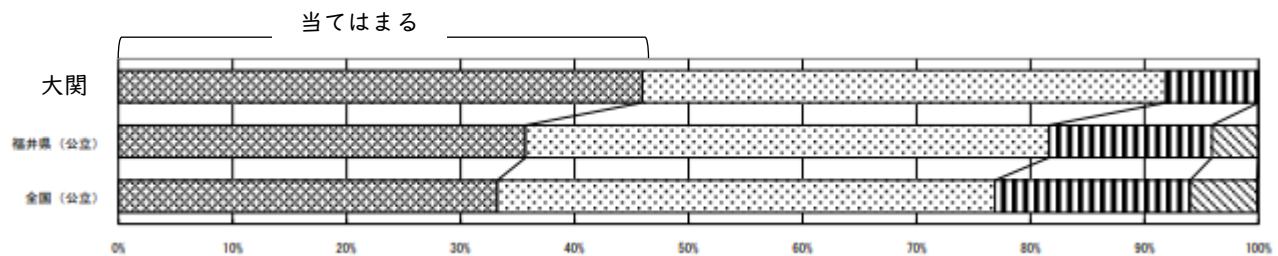
□毎朝の読書時間の確保や、読み聞かせ、委員会活動での良書紹介などの活動に取り組んでおり、少しずつ読書量そのものは増えてきていますが、家庭での読書には結びついていません。ゲームやインターネットなどの影響があると予想されるので、「にこいきチェック」などの生活チェックを丁寧に行い、家庭での状況把握に努めます。

○地域とのつながりについて

・今住んでいる地域の行事に参加していますか



・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



◎地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童に割合が、県平均や全国平均を上回っていました。

地域の行事に参加する児童の割合も県平均とほぼ同じで、全国平均を上回っていました。

□地域柄、学校と地域の結びつきはとて高く、地域住民も学校に対して献身的に支えています。そういう土地柄に育っているため、自然と地域に貢献する気持ちが育っていると考えられます。

今後も、コミュニティセンターやまちづくり協議会とタイアップした様々な活動を通して、地域の方とのふれあいや協働をさらに進めていきたいと思っています。